

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	所沢航空記念公園
指定管理者	所沢航空記念公園マネジメントネットワーク（公財）埼玉県公園緑地協会 代表理事 清水 匠
評価対象年度	令和5年度
施設所管課所	大宮公園事務所

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の平等な都市公園の利用の確保	平等利用の確保	A	・承認された供用日・供用時間を守り休園日、利用時間利用料金を見やすく表示し、変更時には十分周知し、ホームページにアップした。 ・自主事業においても同様に実施した。 ・園内掲示板を一部刷新するとともに、ピクトグラムや英語での表記も追加して多言語化の対応を行い、利用者目線の改良をしている。
	利用料金の適切・公平な徴収	A	・徴収額を適正に処理を行うために毎日複数の職員が利用日報と金額を確認し納期限どおり徴収した。 ・無料とする場合は承認どおり適正に処理した。
	苦情・要望等への適切な対応	A	・適正に処理しその都度記録し、迅速に報告している。 ・利用者にアンケート調査を行いニーズの把握をしている。
関係する法令等を遵守した適正な都市公園の運営	法令等の遵守	A	・危険防止、注意看板の設置や放送を行い合わせて毎日巡回等を行った。行為については審査基準に従い適切に行った。
	適切な各種手続	A	・承認、報告事項にもれはなかった。 ・埼玉県が定める「個人情報保護条例」及び、「(公財)埼玉県公園緑地協会、(公財)日本科学技術振興財団の定める個人情報保護方針に基づき、適切に個人情報を取り扱った。
都市公園の設置目的を効果的に達成した効率的運営	管理目標の達成	B	・管理目標4項目のうち3項目について達成した。 ・ボランティアの参加者数が、ボランティアの高齢化による活動中止や解散の影響により、目標を達成できなかった。
	事業の実施	A	・事業計画に沿った事業を実施した。 ・茶室では令和元年度ぶりに小学生を対象にお茶会の体験ができるクリスマス茶会を実施した。また、新しいイベントとして、園内の航空に関する史跡をめぐるツアーも実施した。 ・月曜日の休園日をなくし、公園施設(記念館除く)の定休日「0」化を維持し利用者サービスに努めた。 ・次のような工夫をして利用者の利便の向上を図っている。 ①テニスコートの早朝・夕方・夜間貸し出しを行った。 ②記念館は、利便者の多い春休みや夏休みなどの繁忙期の月曜日を臨時開館とした。 ③記念館は9月の土曜日・日曜日・祝日に科学技術映像祭入選作品の無料上映を開催した。 ④記念館は埼玉県の日(11月14日)を無料開館とした。
	安全性の確保	A	・遊具点検マニュアル等に基づき、日常点検を毎日行うと共に専門業者の点検を2回行った。 ・むさしの川を稼働時期は毎日巡回を実施し、安全確保を行った。 ・巡回時に発見した不具合については安全を優先し、迅速に対応した。また、園内全域における枯損木の伐採や枯れ枝除去作業を行い、倒木や落枝による被害防止策の強化を図った。さらに台風や降雪後にも、倒木及び折れ枝除去作業を早急に実施した。
	防災等適切な管理の履行	A	・自治体と共同で防災訓練を行うなど災害発生時の連携を念頭に置いた管理を心がけた。令和元年度ぶりに自治会の方々も参加し、災害時に地域住民とも連携できるように訓練を実施した。 ・非常用電源装置や非常用井戸設備については、常に適切な稼働状態を確保するため定期点検を実施した。
指定管理業務を行う経営基盤	収支の適正な管理	A	・指定管理業務の収支記録及び区分している口座により適切な管理を行った。 ・事業会計区分別(受託、自主)に適正な会計処理を行った。
	事業計画との整合性	A	・事業計画に沿って指定管理業務を滞りなく行い指定管理業務以外の支払いは発生していない。 ・必要な保険(施設賠償保険)に加入している。
その他	個人情報の適切な管理	B	・プライバシーマークを更新取得し、個人情報保護マネジメントシステムに則った個人情報の適切な運用を行った。 ・情報公開の申請はなかった。 ・記念館では8月教室の応募者宛の通知メールにおける保護者氏名の誤記載があった。
	県内中小企業及び環境への配慮	A	・警備、清掃等は指名競争入札を実施し県内業者に発注した。 ・剪定木のチップ化や再利用に心がけ、併せて物品購入に当たっては「埼玉グリーン調達方針」等を参考にした。
総合評価		A	公園の特性を活かした各種事業の実施と、地域社会活動への協力を行うと共に、安全安心を維持しつつ公平なサービスを提供している。

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートの男子更衣室の内装のリニューアルや管理事務所の多目的トイレにベビーベットやベビーチェア、ウォッシュレットなどを新設したトイレに更新したことなど利用者サービス向上につながる修繕を実施した。また、ラジオ体操を放送している放送設備が故障した際も利用者の要望に応え、早急に修繕を実施した。</li> <li>・野外ステージにて、公園主催の新規事業として、誰もが楽しめるユニバーサルスポーツで遊ぶことができるユニパークを開催した。(合計20回、参加者合計299人)</li> <li>・記念館は、開館30周年を迎え、記念イベントとして、アニバーサリースタンプラリー(4月1日～12月28日)、大型映像館でのおかえり上映会(4月1日～6月30日)、記念ロゴ入りのり付けひこうきワークショップ(7月1日～3月31日)や収蔵資料を活用した特別展「30年を翔る」(7月22日～12月28日)、公開講座「会式一号機のつくり方」(10月7日)等の記念イベントを開催した。</li> <li>・展示館では、収蔵資料を活用して、零戦設計者・堀越二郎の航空の道に捧げた生涯を紹介する特別展「生誕120周年&amp;航空120周年 堀越二郎回顧展」(1月18日～3月31日)を開催した。</li> <li>・大型映像館では、航空に関係する非劇場向け映画を7月より毎月1回第2土曜日に上映した。また大型映像館運動企画として、ガス気球での宇宙遊覧を目指す岩谷氏の講演会(2月24日)を開催した。</li> <li>・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害防止については、被害の無い樹木に薬剤を注入し被害の拡大を防止した。また、安全安心の観点から、危険木の伐採や枯れ枝剪定作業を行うとともに、西武線及び東京航空交通管制部の高木強剪定作業を行い、災害時等の倒木及び落枝事故防止策を図り、危険回避の強化をした。</li> </ul>
	次年度に向けて改善が望まれる点	園内樹木の老木化・大径木化が進んでおり、危険防止のため伐採や枯れ枝除去等を実施している。今後も、災害や落枝等によるさらなる被害防止に向けて、樹形の小型化や桜の植替え計画を継続して進める。また、駐車場の発行機や受水槽などの設備の老朽箇所があり、改修について検討する。